



尋常中學校醫學

校其他諸官市立學校

檢用

考書

受檢植物學問答

中司正朔編纂

平井金三校閱 平井廣五郎譯述

斯因 大文典講義

全一冊 正價金四拾五錢 郵税金六錢

方今文學ノ殿々乎トソ隆且ツ盛ナルニ當リテヤ誰カ又英語ノ必要ヲ感シ之ヲ攻メサル者アラシク而ノ之ヲ學ブ者必ス先ツ其徑ニ依ラサル可ラス先ツ文典ヲ讀セサル可ラス獨リ恨ム文典ノ書洵トニ乏シカラスソ其善ヲ盡シ完テ得タル者未ダ一ツタモ有ラサルヲ幸ニス井ノトシ氏ノ一書アルノミ又々恨ム其書已ニ幾種ヲ以テ歎フト雖正未ダ會テ正テ得善ヲ極メタルモノアルヲ知ラス幸ニシテ獨リ本書ノアルノミ本書ノ體ハ彼ノ有名ナル平井廣五郎君ノ手ニ成レル者ニシテ平井金三君之カ校閱ノ勞ヲ取ラレ文學士德永君亦タ幾分ノカヲ添ヘラレタル所アリ其誤謬ナキ其完備ナル弊館固ヨリ敢テ多言ヲ費サハルナリ今ヤ弊館之レナ世ニ公ニスルノ榮ヲ見ルヲ得タリ請フ江湖ノ諸彦一讀シテ以テ弊館ノ欺カサルヲ知リ賜ヘ

平井廣五郎譯述

訂正 彌爾敦論

全一冊 正價金廿五錢 税金四錢

該書ハ英國ノ文豪家「マコーレー」氏ガ同國ノ詩家タリ民權家タリシマ爾ヒテ綴誌シ弊館幸ニ出版ノ榮ヲ負フヲ得タリ請フ江湖ノ諸彦一讀シテ以テ弊館ノ欺カサルヲ知リ賜ヘ

高田清洲譯述

訂正 印度開國記事

廿四錢

右ハマコーレー氏ノ原著クライブ傳ヲ譯述シタルモノニシテ双語半所ニシテ特ニ地名人名其他所々ニ注釋ヲ加ヘ又印度莫臥帝家ノ附録ナリヲ綴ク者ノ爲メニモ亦タ只ダ此書ヲ綴ク者ノ爲メニモニツナガラ便益ナル頁書ナリ

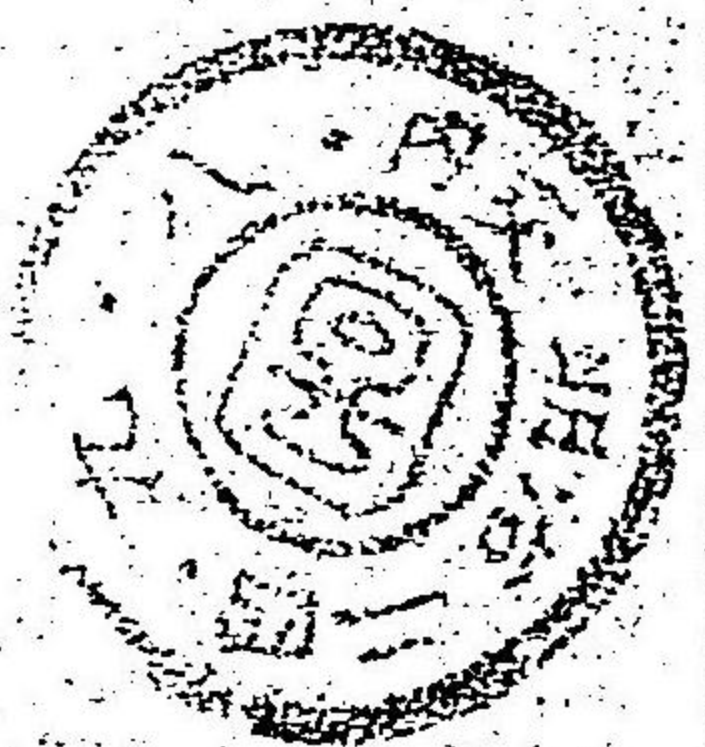
ハ記者ノ注意セラレタル譯書ト異ニスル所ナリ原著

受檢
植物學問答

凡例

此書ハハルファア一氏植物學クソ一氏植物學エドモンド氏植物學モ一
リツツアイバル氏植物學及ヒ其他ノ植物學ヨリ諸官立學校入學受檢
者ニ必要ナル問題二百余ヲ拔萃セリ此書ハ入學受檢者ノ爲メニ作レ
ルヲ以テ圖及ヒ繁雜ナルモノハ省略セリ
問題中圈点ヲ附シタルモノハ高等尋常中學校及ヒ醫學校ノ入學試檢
問題或ハ夫ニ類スル緊要ノ問題ナリ
此書ハ數日間ニ作レルヲ以テ謾謾ノ点モ多クアラソ讀者正誤ノ勞ヲ
取ラレハ幸甚

編者識



特51

344



十 九 八 七 六 五 四 三 二 一

問 題

植物學トハ如何

動物ノ異ナル点ヲ記セ

植物學ヲ何種ニ大別スルヤ

純粹植物學ヲ何種ニ別ツヤ

植物形態學トハ如何

植物造構學トハ如何

植物生理學トハ如何

植物分類學トハ如何

植物地理學トハ如何

古植物學トハ如何

應用植物學トハ如何

十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三

植物ノ何種ニ大別スルヤ

植物ノ何種ニ大別スルヤ

顯花植物ノ徵候ヲ記セ

顯花植物体トハ如何ナル機關ヨリ成立スルヤ

發育機關ハ如何ナルモノヨリナルカ

生殖機關ハ如何ナルモノヨリナルカ

顯花植物ヲ別テ何種トスルヤ

單子葉植物トハ如何

雙子葉植物トハ如何

一年生植物トハ如何

二年生植物トハ如何

多年生植物トハ如何

二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五

灌木及ヒ喬木トハ如何

植物ノ原器トハ如何

細胞トハ如何

導管トハ如何

組織トハ如何

細胞ハ如何ナルモノヨリナルカ

細胞膜トハ如何

細胞含有物トハ如何ナルモノヲ云フヤ

原形質トハ如何

葉綠質トハ如何

澱粉トハ如何

細胞液トハ如何

三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七

結晶体トハ如何
假結晶体トハ如何
糊粉トハ如何
イヌリツトハ如何
細胞ノ形状ヲ記セ
細胞ニハ何種類アルヤ
導管ニハ何種類アルヤ
組織ニハ何種類アルヤ
種子ヲ取テ解剖スレハ如何ナル状態ヲ呈スルヤ
根トハ如何
根ノ形状ハ如何
氣生根特生根及寄生根トハ如何

四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九

根ノ構造ヲ問フ
根ノ作用ヲ問フ
莖ト根ノ區別如何
莖ノ形状ヲ問フ
莖ヲ何種ニ大別スルヤ
地上莖ヲ何種ニ別ツヤ
織匍枝トハ如何
短匍枝トハ如何
匍枝トハ如何
吸枝トハ如何
地中莖ヲ何種ニ別ツヤ
横莖トハ如何

六十 塊莖トハ如何
 六十一 球莖トハ如何
 六十二 鱗莖トハ如何
 六十三 雙子葉莖ノ構造ヲ問フ
 六十四 單子葉莖ノ構造ヲ問フ
 六十五 雙子葉莖ト單子葉ノ異点ヲ擧ケヨ
 六十六 莖ノ作用ヲ記セ
 六十七 芽トハ如何
 六十八 定芽トハ如何
 六十九 不定芽トハ如何
 七十 芽ノ變形物トハ如何
 七十一 葉ノ定義ヲ記載セヨ

七十二 葉ノ位置ヲ記載セヨ
 七十三 完全ナル葉ハ如何ナル部分ヨリナルカ
 七十四 葉面ノ模様ヲ問フ
 七十五 葉脈ノ形狀ヲ問フ
 七十六 網脈ヲ別テ何種トスルヤ
 七十七 平行脈ヲ別テ何種トスルヤ
 七十八 單葉ト複葉トノ區別ヲ問フ
 七十九 葉ノ構造ヲ問フ
 八十 葉ノ作用ヲ問フ
 八十一 花芽及ビ苞トハ如何
 八十二 花軸花梗及ビ花房トハ如何
 八十三 花房ハ何種ニ大別スルヤ

八十四	無根花房ニ属スルモノヲ記載セヨ
八十五	穗状花トハ如何
八十六	總状花トハ如何
八十七	繖房花トハ如何
八十八	繖形花トハ如何
八十九	小頭花トハ如何
九十	肉穗花トハ如何
九十一	柔荑花トハ如何
九十二	圓錐花トハ如何
九十三	有限花房ニ属スルモノヲ記載セヨ
九十四	聚繖花トハ如何
九十五	繖繖花トハ如何

九十六	團聚花トハ如何
九十七	花ノ定義ヲ記セ
九十八	花ヲ形成スル部分ヲ記セ
九十九	完全花トハ如何
百	整齊花トハ如何
百一	平等花トハ如何
百二	單性花トハ如何
百三	萼ヲ別テ何種トスルヤ
百四	萼ノ形状ヲ問フ
百五	花冠ノ形状ヲ問フ
百六	花蓋トハ如何
百七	雄蕊ハ如何ナル部分ヨリナルカ

- 百八 花絲蒔及ヒ花粉ノ形狀ヲ記セ
- 百九 蒔ノ附着狀ノ模様ヲ問フ
- 百十 雌蕊ハ如何ナル部分ヨリナルカ
- 百十一 雌蕊ヲ別テ何種トスルヤ
- 百十二 子房ヲ別テ何種トスルヤ
- 百十三 胚珠トハ如何
- 百十四 花托トハ如何
- 百十五 花盤トハ如何
- 百十六 受精トハ如何
- 百十七 受精ノ方法ニ何種アルヤ
- 百十八 異花受精トハ如何
- 百十九 自花受精トハ如何

- 百二十 果實單果複果トハ如何
- 百二十一 果實ハ如何ナル部分ヨリナルカ
- 百二十二 單果ノ種類ヲ記セ
- 百二十三 單子房ヨリナルモノ、種類ヲ記セ
- 百二十四 若干ノ分離セル子房ヨリナルモノ、種類ヲ記セ
- 百二十五 集合子房ヨリナルモノ、種類ヲ記セ
- 百二十六 複果ノ種類ヲ記セ
- 百二十七 種子トハ如何
- 百二十八 種子ハ如何ナル部分ヨリナルカ
- 百二十九 植物分類法トハ如何
- 百三十 植物分類法ヲ別テ何種トスルヤ
- 百三十一 天然分類法ニ於テ通常用井ル名稱ヲ順序ニ記載セ

百三十二

毛茛科ノ特徴ヲ記セ

百三十三

毛茛科ノ効用、産地及ビ其種属ヲ記セ

百三十四

十字科ノ特徴ヲ記セ

百三十五

十字科ノ効用、産地及ビ其種属ヲ記セ

百三十六

石竹科ノ特徴ヲ記セ

百三十七

石竹科ノ効用、産地及ビ其種属ヲ記セ

百三十八

莖科ノ特徴ヲ記セ

百三十九

莖科ノ効用、産地及ビ其種属ヲ記セ

百四十

薔薇科ノ特徴ヲ記セ

百四十一

薔薇科ノ効用、産地及ビ其種類ヲ記セ

百四十二

繖形科ノ特徴ヲ記セ

百四十三

繖形科ノ効用、産地及ビ其種属ヲ記セ

百四十四

菊科ノ特徴ヲ記セ

百四十五

菊科ノ効用、産地及ビ其種属ヲ記セ

百四十六

玄參科ノ特徴ヲ記セ

百四十七

玄參科ノ効用、産地及ビ其種属ヲ記セ

百四十八

唇形科ノ特徴ヲ記セ

百四十九

唇形科ノ効用、産地及ビ其種属ヲ記セ

百五十

蓼科ノ特徴ヲ記セ

百五十一

蓼科ノ効用、産地及ビ其種属ヲ記セ

百五十二

殼斗科ノ特徴ヲ記セ

百五十三

殼斗科ノ効用、産地及ビ其種属ヲ記セ

百五十四

蘭科ノ特徴ヲ記セ

百五十五

蘭科ノ効用、産地及ビ其種属ヲ記セ

百五十六
百五十七
百五十八
百五十九
百六十
百六十一
百六十二
百六十三
百六十四
百六十五
百六十六
百六十七

百合科ノ特徴ヲ記セ
百合科ノ効用、産地及ビ其種属ヲ記セ
莎草科ノ特徴ヲ記セ
莎草科ノ産地及ビ其種属ヲ記セ
木本科ノ特徴ヲ記セ
木本科ノ効用、産地及ビ其種属ヲ記セ
松柏科ノ特徴ヲ記セ
松柏科ノ効用、産地及ビ其種属ヲ記セ
隱花植物ノ徴候ヲ問フ
隱花植物發育機關ノ有様如何
石松類ノ特徴ヲ記セ
石松類ノ効用、産地及ビ其種属ヲ記セ

百六十八
百六十九
百七十
百七十一
百七十二
百七十三
百七十四
百七十五
百七十六
百七十七
百七十八
百七十九

木賊類ノ特徴ヲ記セ
木賊類ノ効用、産地及ビ其種属ヲ記セ
蕨類ノ特徴ヲ記セ
蕨類ノ産地及ビ其種属ヲ記セ
羊齒類ノ特徴ヲ記セ
羊齒類ノ効用、産地及ビ其種属ヲ記セ
蘚類ノ特徴ヲ記セ
蘚類ノ効用、産地及ビ其種属ヲ記セ
苔類ノ特徴ヲ記セ
苔類ノ産地及ビ其種属ヲ記セ
菌類ノ特徴ヲ記セ
菌類ノ効用、産地及ビ其種属ヲ記セ

- 百八十 菌類ノ食用ト有毒トヲ區別スル法如何
- 百八十一 地衣類ノ特徴ヲ記セ
- 百八十二 地衣類ノ効用産地及ビ其種属ヲ記セ
- 百八十三 輪藻類ノ特徴ヲ記セ
- 百八十四 輪藻類ノ産地種属ヲ記セ
- 百八十五 藻類ノ特徴ヲ記セ
- 百八十六 藻類ノ効用産地及ビ其種属ヲ記セ
- 百八十七 原微植物類ノ特徴ヲ記セ
- 百八十八 原微植物類ノ種属ヲ記セ
- 百八十九 植物帶ヲ分テ何種トスルヤ
- 百九十 赤道帶トハ如何
- 百九十一 熱帶トハ如何

- 百九十二 亞熱帶トハ如何
- 百九十三 温帶トハ如何
- 百九十四 冷帶トハ如何
- 百九十五 亞寒帶トハ如何
- 百九十六 寒帶トハ如何
- 百九十七 極帶トハ如何
- 百九十八 日本ニテハ植物帶ヲ何種ニ別ツヤ
- 百九十九 樺樹帶ニ属スル地方ヲ記セ
- 二百 黒松帶ニ属スル地方ヲ記セ
- 二百一 山毛櫸帶ニ属スル地方ヲ示セ
- 二百二 白檜帶ニ属スル地方ヲ示セ
- 二百三 偃松帶ニ属スル地方ヲ示セ

受檢
必読 植物學問答

中司正朔編

(一)

植物學トハ如何

植物學トハ植物界一般ニ關スルヲ論究スルノ科ナリ

(二)

動植物ノ異ナル点ヲ記セ

動植物ニ物ハ運動ノ現象ヲ以テ區別スルヲ能ハズ其異ナル處ハ食物材
料ノ異同ニアルナリ植物ハ重ニ食物ヲ採リ動物ハ直接間接
ニ食物ヲ植物ヨリ採ルナリ

(三)

植物學ヲ何種ニ大別スルヤ

ニツニ大別ス純粹植物學及ビ應用植物學之レナリ

(四)

純粹植物學ヲ何種ニ別ツヤ

六ツニ別ツ植物形態學(一名植物器官學)、植物遺構學(一名植物解剖學)、

植物生理學、植物分類學（一名植物綱目學）、植物地理學、古植物學、化石植物學、之レナリ

(五) 植物形態學トハ如何

植物形態學トハ植物外部ノ機關及ビ形狀、性質ヲ論スル學ナリ

(六) 植物造構學トハ如何

植物内部ノ構造ヲ講究シ各部特別ノ性狀及ビ排列ヲ有スル最小器質ヲ講究スル學ナリ

(七) 植物生理學トハ如何

植物生理學トハ植物生活ノ有様及ビ機能ヲ論スル學ナリ

(八) 植物分類學トハ如何

植物分類學トハ植物ノ種類ヲ講究スル學ナリ

(九) 植物地理學トハ如何

植物地理學トハ植物ノ地球上ニ散布スル有様ヲ講究スル學ナリ

(十) 古植物學トハ如何

古植物學トハ地ノ外皮中ニ埋没シテ化石トナリタル植物ノ遺骸ニ依リテ古ノ植物ヲ講究スル學ナリ

應用植物學トハ如何

植物ノ人間ニ用テナス所ニ就テ講究スル學ニシテ農業植物學、山林植物學、藥用植物學等ナリ

(二十) 植物ヲ何種ニ大別スルヤ

二種ニ別ツ顯花植物（一名有花植物）、及ビ隱花植物（一名無花植物）之レナリ

(三十) 植物ヲ何種ニ大別スルヤ

二種ニ別ツ顯花植物（一名有花植物）、及ビ隱花植物（一名無花植物）之レ

ナリ

顯花植物ノ徴候ヲ記セ

顯花植物ハ高等植物ニシテ花ヲ生シ果實ヲ結ビ種子ヲ産シ之ニ依テ繁殖スルモノナリ

顯花植物体ハ如何ナル機關ヨリ成立スルヤ

發育機關及ビ生殖機關ヨリ成ルナリ

發育機關ハ如何ナルモノヨリナルカ

根、莖及ビ枝ヨリナルナリ

生殖機關ハ如何ナルモノヨリナルカ

花(雄蕊及ビ雌蕊ヨリナル)果實、及ビ種子(子葉胚軸、幼根、幼芽ヨリナル)

ヨリナルナリ

顯花植物ヲ別テ何種トスルヤ

(八十)

(七十)

(六十)

(五十)

(四十)

三種トス單子葉植物、及ビ雙子葉植物ナリ

單子葉植物トハ如何

單子葉植物トハ一枚ノ子葉ヲ有スルモノニシテ百合蘭ノ如シ

雙子葉植物トハ如何

雙子葉植物トハ二枚ノ子葉ヲ有スルモノニシテ牡丹、梅ノ如シ

一年生植物トハ如何

一年生植物トハ一年間ニ枯死スルモノニシテ通常春季ヨリ秋季ニ至

テ發育シ種子ヲ成熟シテ全ク枯死スルモノニシテ稻、蕎麥ノ如シ

二年生植物トハ如何

二年間ニ一回ノ發育ヲ遂クル植物ニシテ通常種子ハ秋季ニ發芽シ冬

ヲ經テ翌年ニ至リ花ヲ開キ種子ヲ成熟シテ全ク枯死スルモノニシテ

「シキアリス」等ヨリイダサノ如シ

(二十三)

(一十二)

(十二)

(九十)

多年生植物トハ如何

多年生植物トハ長ク生存シ毎年花ヲ開クモ地上ニ出テタル部分ハ冬ニ至レハ枯死ス然レモ根ニ至ル迄枯死スルコトナクシテ芽ヲ有セル莖ノ一部生存シ翌年ニ至レハ枝此芽ヨリ生スルモノナリ菖蒲芍薬ノ如

灌木及ヒ喬木トハ如何

灌木トハ地中ヨリ直チニ枝條ヲ發生シ其木質ノ莖年々生長スル多年生植物ナリ喬木トハ全ク單幹ナルカ又ハ幹上ニ分枝スル多年生植物ニシテ灌木ノ如クニシテ其形大ナルヲ云フ

植物ノ原器トハ如何

植物体ヲ構成スル材料ニシテ細胞導管及ヒ組織之レナリ

細胞トハ如何

導管トハ如何

植物本ハ總ニ種子中ニアル胚ガ發生シテ生長スルモノナリ而シテ其胚ハ外見上極メテ單一ノ如クナレモ其實ハ無數ノ最小鑿相重サナリテ成ルモノニシテ此小鑿ヲ細胞ト云フ

組織トハ如何

細胞互ニ密接シ相互ノ細胞膜ノ一部又ハ全部密着シテ一ノ長ク管トナリタルモノヲ導管ト云フ

細胞ハ如何ナルモノヨリナルカ

數多ノ細胞一處ニ集リ細胞膜ニテ結合スルホハ其全体ヲ組織ト云フ表面ハ細胞膜ト稱スル被膜ヨリナリ内部ハ細胞含有物ト稱スル種々ノ物質ヨリナル

細胞膜トハ如何

細胞膜トハ細胞含有物ヲ包被スル者ニシテ自ラ生活スルカナシ

細胞含有物トハ如何ナルモノヲ云フヤ

原形質葉綠質澱粉細胞液結晶体假晶体糊粉イヌリン等ヲ云フ

原形質トハ如何

原形質トハ植物体ノ生活力ヲ有スルモノニシテ其中ニ核及ヒ仁ヲ有ス

葉綠質トハ如何

植物ニ固有ノ綠色ヲ呈スル物質ニシテ其中ニ葉綠粒ト稱スルモノアリ而シテ夫レハ無色ノ粒狀物ト綠色ノ物質トヨリナル

澱粉トハ如何

粒狀ヲナスモノニシテ沃養ニ遇ハバ藍色ニ變スルモノナリ

細胞液トハ如何

細胞幼少ナル時ハ細胞膜原形質等總テ水樣液ニ浸潤セラル此ノ水樣液ヲ細胞液ト云ヒ其中ニ種々ノ無機物質ヲ含有ス

結晶体トハ如何

結晶体トハ通常無機生化化合物ニシテ重ニ碳酸石灰ヨリナリ時トシテハ炭酸石灰硫酸石灰ヨリナルヲアリ六面体八面体ヲナス而シテ細胞ノ液中ニ含有セル無機物質ハ屢ル結晶体トナリテ細胞膜ニ現出スルヲアリ

假晶体トハ如何

有機質ヨリナル結晶体ノ体ヲ假晶体ト云フ

糊粉トハ如何

糊粉トハ殆ント成熟セル種子ノ細胞中ニアル微小ナル球狀物ナリ

イヌリントハ如何

(十四)

澱粉及ヒ砂糖ニ類似セルモノニシテ菊科植物ノ根莖ニ含有セリ
細胞ノ形狀ヲ記セ

細胞ハ球形ニシテ生長スルニ隨ヒ卵形若クハ橢圓形トナリ次テ紡錘
狀トナル

細胞ニハ何種類アルヤ

(一十四)

七種アリ有孔細胞、螺旋狀細胞、環紋細胞、楷紋細胞、韌皮細胞、木質細胞、有
緣細胞之レナリ

導管ニハ何種類アルヤ

(二十四)

螺旋狀導管、輪狀導管、網狀導管、階狀導管、斑點導管ノ五種類ナリ

組織ニハ何種類アルヤ

(三十四)

柔組織、硬組織、厚角組織、厚膜組織ノ四種類之レナリ

種子ヲ取テ解剖スレハ如何ナル狀態ヲ呈スルヤ

(四十四)

今豌豆ヲ採テ其外皮ヲ去レハ二枚ノ子葉アリ内面ニハ一邊ニ胚軸アリ
其上端ニハ幼芽アリ下端ニハ幼根アリ

根トハ如何

(五十四)

根ハ總テ下方ニ向テ生長スル植物体ノ一部分ニシテ決シテ附屬物ヲ
着ケサルモノナリ而シテ根ハ直根及ヒ副根ヨリ成ル直根ハ幼根ノ下端
ヨリ直ニ生シタル者ヲ云ヒ副根トハ幼根ノ下端ノ少シク上方ヨリ數
條ノ細根ニ分裂シ各根鞘ヲ破リテ支出スル者ヲ云フ

根ノ形狀ハ如何

(六十四)

根ハ單根及ヒ複根ヨリナル單根ハ單一ニシテ分岐セザルモノヲ云ヒ
圓錐根、紡錘根及ヒ蕪菁根ノ三ツニ別ル複根ハ數多ニ分岐スルモノニ
シテ鬚根、塊根、掌根及ヒ叢根ノ四ツニ別ル

氣生根、特生根、及ヒ寄生根トハ如何

(七十四)

氣生根トハ温熱ニシテ潤濕ナル地方ニ生スルモノニシテ甘蔗榕樹ノ如キ之レナリ特生根トハ獨立ノ生活ヲナスモノニシテ通常ノ植物ノ根之レナリ寄生根トハ他物ニ寄生シテ之レヨリ養分ヲ吸收シ生活スルモノナリ

根ノ構造ヲ問フ

根ハ表皮皮膚及ビ維管束ヨリ成ル表皮ハ根冠ヨリナル皮膚ハ生長点ヨリナル維管束ハ韌皮部及ビ木質部ヨリナル

根ノ作用ヲ問フ

根ハ植物体ヲ其生シタル地位ニ維持スルノ働キヲナシ排泄ノ働キヲナシ貯藏ノ機關トナルナリ

莖ト根ノ區別如何

根ハ根冠ヲ作シ先端ニ生長シ莖ハ全部一纏ニ生長シ其先端ハ芽

ヲ以テ圓マル莖ヨリ葉及ヒ花ヲ發生スルモ根ヨリハ支根ヲ出スノミ莖ノ中央ニハ髓アリ根ノ中央ニハ維管束アリ根ノ纖維及ヒ韌皮ハ縱ニ並列スルモ莖ハ重輪狀ヲナス

莖ノ形狀ヲ問フ

莖ハ通常圓柱狀若クハ稜柱形ニシテ横斷面ヨリ見シハ圓柱形ヲナスアリ扁柱狀ヲナスアリ二葉狀ヲナスアリ或ハ三角乃至多角ヲナスモノアリ

莖ヲ何種ニ大別スルヤ

莖ハ位置ニ依テ地上ニアルモノト地中ニアルモノトノ二ニ別ツ

地上莖ヲ何種ニ別ツヤ

纖匍枝短匍枝匍枝及ビ吸枝ノ四ニ別ツ

纖匍枝トハ如何

纖匍枝トハ細長ニシテ卷鬚ノ如ク葉ヲ有セザル匍匐枝ニシテ「オランダ」
「マエチゴ」ノ如シ

短匍枝トハ如何

短匍枝トハ匍枝ノ短キモノニシテ其先端ヨリ葉ヲ出ス石蓮花ノ如シ

匍枝トハ如何

匍枝トハ地面ニ伏臥スル枝ニシテ地ニ密接スル處ヨリ根ヲ出シ強キ

芽ヲ上方ニ出ス「コルランド」ノ如シ

吸枝トハ如何

吸枝トハ地中ノ莖ヨリ上方ニ發出スル枝ニシテ薔薇ノ如シ

地中莖ヲ何種ニ別ツヤ

根莖塊莖球莖及ビ鱗莖ノ四ニ別ツ

根莖トハ如何

根莖トハ地面ニ匍匐シテ地面ノ中ニアリ又ハ土ヲ以テ蔽ハル其上端
ヨリ葉ヲ出シ下端ヨリ根ヲ出ス生姜蓮ノ如シ

塊莖トハ如何

塊莖トハ根莖ノ肥大トナリタルモノニシテ地中ノ先端ニ滋養物ヲ多
ク含ム馬鈴薯ノ如シ

球莖トハ如何

球莖トハ肥大ノ根莖ニシテ縦ヨリ横ガ長ク通常直立シテ其上面ヨリ
芽ヲ生シ下面ヨリ根ヲ生ス水仙ノ如シ

鱗莖トハ如何

鱗莖トハ多少扁平ニシテ盤狀ヲナシ下部ヨリ根ヲ生シ上部ヨリ鱗片狀
ノ葉ヲ生シ而シテ莖及ビ花ヲ發生ス百合ノ如シ

雙子葉莖ノ構造ヲ問フ

(六十五) (五十五)

(七十五)

(九十五) (八十五)

(十六)

(一十六)

(二十六)

(三十六)

外部ニ皮層アリ中心ニ髓アリ其中間ニハ輪層ヲナセル材質即チ維管束アリ輪層ハ年々一輪ヲ増生ス

單子葉莖ノ構造ヲ問フ

判然タル部分ノ區別ナク全体一樣ノ基本組織ヨリナル維管束アルモ輪層ヲナサズ

雙子葉莖ト單子葉莖ノ異点ヲ擧ケヨ

雙子葉莖ハ具皮層アルモ單子葉莖ニハ假皮層アリ雙子葉莖ハ維管束輪層ヲナスモ單子葉莖ハ維管束處々ニ散布シ輪層ヲナサズ雙子葉莖ノ維管中ニハ形成層アリテ維管ノ數無根ナリ單子葉莖ハ形成層ヲ有セズ維管束ノ數ハ有限ナリ雙子葉莖ハ中心ノ木質堅牢ナルモ單子葉莖ハ假皮層堅牢ナリ

莖ノ作用ヲ記セ

莖ハ葉及ビ花ヲ附着シ大氣及ビ日光ニ牴觸シテ其働キヲナサシム莖ハ大氣及ビ液汁ヲ上下内外ノ諸方ニ運搬シ其局部ニテ種々ノ働キヲナサシム莖ハ種々ノ液汁ヲ含有シ之ヲ分泌ス莖ノ内部ニハ髓木質アリテ各其作用ヲナス即チ髓ハ其細胞中ノ滋養液ヲ以テ幼少ノ植物ヲ生長セシム木質ハ液汁ヲ根ヨリ葉ニ輸送スルノ要路ニ當ルナリ

芽トハ如何

芽トハ枝ノ莖幹始メテ表面ニ現出スルモノニシテ定芽不定芽及ビ芽ノ變形物ヨリナル

定芽トハ如何

定芽トハ一定ノ部位ヲ限リ生スルモノニシテ頂芽腋芽副芽ヨリナル

不定芽トハ如何

不定芽トハ一定ノ部位ヨリ生セズ他ノ部位ヨリ生スルモノニシテ胚

芽ヨリナル

芽ノ變形物トハ如何

芽ハ通常ノ枝トナラズシテ他物ニ變形スルコトアリ針及ビ卷鬚之レナ

葉ノ定義ヲ記載セヨ

葉ハ莖ノ周圍ニ附着シ通常扁平ニ擴張シタル植物ノ副器官ニシテ植
物營養器官ノ一部ナリ

葉ノ位置ヲ記載セヨ

葉ノ莖ニ附着スル位置ニハ三ノ區別アリ每節ヨリ唯一葉ヲ出シ交々
葉ノ他面ニ立ツトハ之ヲ互生ト云フ山茶花ノ如シ每節ヨリ二葉ヲ出
シ各々莖ノ反對ノ面ニ立ツトハ之ヲ對生ト云フ紫蘇ノ如シ每節ヨリ
三葉以上ヲ出シ莖ノ周圍ニ立ツトハ之ヲ輪生ト云フギンギョクノ如

(十七)

(一十七)

(二十七)

(三十七)

完全ナル葉ハ如何ナル部分ヨリナルカ

完全ナル葉ハ葉片葉柄及ビ一雙ノ托葉ヨリナル葉片トハ扁平ナル部
ニシテ通常葉ト呼ブ處ナリ葉柄トハ莖ヲ莖ニ連接スル柄條ナリ托葉
トハ莖ト葉柄トニテナセル角内ニアル葉片ナリ

葉面ノ模様ヲ問フ

葉面ニハ種々ノ筋アリ之ヲ葉脈ト云フ又葉ノ中央ニハ一條ノ太キ筋
アリテ葉柄ヨリ直ニ葉端ニ達スルモノヲ中肋ト云ヒ數條ノ太キ筋葉
柄ヨリ出テ葉面ニ散スルモノヲ肋ト云フ

葉脈ノ形狀ヲ問フ

葉脈ノ形狀ハ雙子葉植物及ビ單子葉植物ニ依テ異ナレリ雙子葉植物
ノ葉脈ハ相互ニ網羅ス之ヲ網脈ト云フ單子葉植物ノ葉脈ハ平行ニ走

(五十七)

(四十七)

ル之ヲ平行脈ト云フ

網脈ヲ別テ何種トスルヤ

網脈ヲ羽狀脈及ビ掌狀脈ノ二ニ別ツ羽狀脈トハ一條ノ中肋ヲ有シ之
レヨリ兩側ヘ支出スルモノヲ云フ櫛葉ノ如シ掌狀脈トハ數條ノ肋脈
アリテ葉柄ガ葉片ニ入ル所ヨリ射出スルモノヲ云フ楓葉ノ如シ

平行脈ヲ別テ何種トスルヤ

平行脈ヲ直脈、射出脈、及ビ側脈ノ三ニ別ツ直脈トハ葉脚ヨリ直ニ葉端
ニ達スルヲ云ヒ射出脈ハ一點ヨリ數多ノ肋脈ヲ散出スルヲ云ヒ側脈
ハ中肋ヨリ其兩側ニ數多ノ支脈ヲ出シ直ニ葉緣ニ達スルモノヲ云フ

單葉ト複葉トノ區別ヲ問フ

單葉トハ單一ノ葉片ニテナリ其葉柄ハ直ニ肋トナルヲ云フ山茶ノ如
シ複葉トハ一ノ葉端ガ分岐シテ各々一葉ヲ着クルモノヲ云フ藤ノ如

葉ノ構造ヲ問フ

葉ハ葉脈及ビ葉肉ヨリ成ル葉脈トハ葉片ノ骨格ヲナスモノニシテ堅
半ナル纖維ニテナリ莖ノ維管束ニ接續ス葉肉トハ柔組織ヨリナリ莖
ノ皮層ニアル柔組織ニ相接續ス

葉ノ作用ヲ問フ

葉ハ植物体ノ爲メニ滋養分ヲ吸收スルノ働キヲナシ且ツ夫ヲ消化ス
ル働キヲナス葉ハ植物ノ呼吸ヲ司リ水蒸氣ヲ呼出シ液質ヲ循環スル
ノ用ヲナス葉ハ食肉機關、支柱及ビ滋養物ノ貯蓄所トナルヲアリ

花芽及ビ苞トハ如何

莖及ビ枝ノ頂端或ハ結節ヨリ葉芽及ビ花芽ヲ出ス花芽ハ通常變形セ
ル葉ノ腋間ヨリ出シルモノニシテ此變葉ヲ苞ト云フ

花軸、花梗、及ビ花房トハ如何

花軸トハ花ヲ附着スル莖或ハ枝ノ一部ヲ云フ花梗トハ花軸ヨリ小枝柄ヲ出シ之ニ花ヲ附着スルモノヲ云フ花房トハ花ノ發生ノ模様即チ花ノ排置ヲ云フ

花房ハ何種ニ大別スルヤ

有限花房及ビ無限花房ノ二ニ別ツ有限花房トハ簡單ナルモノニシテ花軸ノ頂端ニ單花ヲ戴クナリイチリン草ノ如シ無限花房トハ花皆腋芽ヨリ發スルモノヲ云フナツサノ如シ

無限花房ニ屬スルモノヲ記載セヨ

繖狀花、繖狀花、繖房花、繖形花、小頭花、肉穗花、莖莖花、圓錐花之レナリ

繖狀花トハ如何

繖狀花トハ花軸長クシテ無梗ノ花叢生スルモノヲ云フ麥ノ如シ

繖狀花トハ如何

繖狀花トハ小梗ヲ有スル花叢梗上ニ排置セルモノヲ云フ「ダイコン」ノ如シ

繖房花トハ如何

繖房花トハ繖狀花ニ似タルモ短クシテ廣シ其頂穹形ナルアリ平等ナルアリ之レ畢竟下部ノ小梗伸長シテ上部ノ小梗短キヲ以テナリ「ナタ」ヲナフ如シ

繖形花トハ如何

繖形花トハ小梗皆繖梗ノ頂ヨリ生シテ開キタル繖ノ骨ノ有線ヲナセル衣袋ヲ云フサクナ草ノ如シ

小頭花トハ如何

小頭花トハ圓形ノ花叢ニシテ無梗ノ花莖ヲ短キ花軸或ハ花托上ニ群

肉穗花トハ如何

肉穗花トハ穗狀花或ハ小頭花ノ肥大ナルモノニシテ其各花小ニシテ完全ナラザルモノ多シ天南星ノ如シ

葇荑花トハ如何

葇荑花トハ鱗片ヲ有セル穗狀花ニシテ柳白楊ノ如シ

圓錐花トハ如何

圓錐花トハ一般ニ直立セル花軸及ヒ分枝多キ側軸ヲ有シ下方ヨリ上方ニ向ヒ漸々階級様ニ其分枝ヲ減ス其花房ハ三稜形ヲナスナリカラスムギノ如シ

有限花房ニ屬スルモノヲ記載セヨ

聚繖花密繖花及ヒ團聚花之レナリ

聚繖花トハ如何

聚繖花トハ通常平頭或ハ穹頭ナル花叢ニシテ花皆頂芽ヨリ生スルナリニハトコノ如シ

密繖花トハ如何

密繖花トハ花ノ甚タ密集シテ束狀ヲナセル聚繖花ナリヒゲナデシコノ如シ

團聚花トハ如何

團聚花トハ非常ニ密集セル聚繖花ニシテ各花ハ無梗ニシテ圓頭狀ヲナス黃楊ノ如シ

花ノ定義ヲ記セ

花ハ植物体ニアリテ生殖ノ作用ヲ司ル器官ニシテ其莖節ノ短縮スルニ由リ聚心的ノ圓体ヲナスモノナリ

花ヲ形成スル部分ヲ記セ

花ハ萼花冠雄蕊雌蕊ヨリナル萼トハ花ノ最外部ヲ作ルモノニシテ堅硬綠色草本様ノ性質ヲ有ス花冠ハ花ノ内被ニシテ通常一輪ニ並列シ嫩軟ニシテ種々ノ色ヲ現ハシ香氣ヲ保ツモノナリ雄蕊トハ花被ノ内部分ニアリテ嫩軟ニシテ花瓣様ノ性質ヲ有シ其内部ニ於テ生殖ヲ營爲スル花粉ヲ保存ス雌蕊ハ花心ニ位シ一或ハ數多ノ心蕊ヨリナリ其内部ニ小卵子或ハ卵巢ヲ有ス

完全花トハ如何

完全花トハ萼花冠雄蕊雌蕊ヲ有スルモノヲ云フ

整齊花トハ如何

整齊花トハ花ノ各輪ノ部分皆形狀及ビ大サヲ同クスルモノヲ云フ

平等花トハ如何

平等花トハ各輪ノ部分其數均一ナルヲ云フ

單性花トハ如何

單性花トハ一花中ニ雄蕊雌蕊何レカ一ヲ有スルモノヲ云フ

萼ヲ別テ何種トスルヤ

離萼合萼ノ二トス離萼トハ罌粟ノ如キヲ云ヒ合萼ハ「ナデシメ」ノ如キヲ云フ

萼ノ形狀ヲ問フ

整齊ナル萼ハ管狀漏斗狀鐘狀壺狀ヲナス不整齊ナル萼ハ唇形距形兜形ヲナス

花冠ノ形狀ヲ問フ

花冠ハ萼ノ如ク連合スルアリ分離スルアリ均整ナルアリ不均整ナルアリ車輪狀鐘狀漏斗狀管狀皿狀唇形舌形等ヲナスモノアリ

花蓋トハ如何

萼及ヒ花冠ノ色均一ニシテ區別スル能ハサル者ハ花蓋ト稱ス
雄蕊ハ如何ナル部分ヨリナルカ

雄蕊ハ花絲、葯及ヒ花粉ヨリナル。花絲トハ柄ニシテ花ノ他所へ着クモ
ノナリ葯トハ花絲ノ頂端ニアル小体ニシテ花粉トハ葯内ニアル微細
ノ粉末ナリ

花絲、葯及ヒ花粉ノ形狀ヲ記セ

花絲ハ通常纖細ニシテ絲狀ヲナスモ往々廣平ナルモノアリ葯ハ通常
二房ニ別レ長形ニ並行セル隔障ヲ有シ稀レニハ開離セル隔障ヲ有ス
其形狀腎臟ノ如シ花粉ハ遊離細胞ヨリナリ球狀若クハ楕圓形ヲナス
葯ノ附着狀模様ヲ問フ

葯ハ内生側生丁字樣ノ三様ヲナシテ附着スルナリ内生トハ葯其基部

ニテ花絲ノ頂上ニ附着シ花ノ内外何レノ方ニ向ハサルヲ云フ側生ト
ハ葯一面通常全ク花絲ノ一側ニ附着スルヲ云フ丁字樣トハ葯ノ中央
ノ花絲ノ尖端ニ附着シ前後ニ動搖スルヲ云フ

雌蕊ハ如何ナル部分ヨリナルカ

雌蕊ハ子房、柱頭ヨリナル。子房ハ下方ノ膨大ナル處ニシテ胚珠ヲ含
有ス柱ハ子房ヨリ出ツル條柄ナリ柱頭ハ柱ノ頂端ニシテ花粉ヲ受ケ
胚珠ニテ種子トナル質ヲ得セシムルモノナリ

雌蕊ヲ別テ何種トスルヤ

單複ノ二種トス單雌蕊ハ單一ノ雌蕊ヲ云ヒ二蕊以上ナルモノヲ複雌
ト云フ

子房ヲ別テ何種トスルヤ

單子房複子房ノ二種トス單子房ハ單雌蕊ノ子房ニシテ一ノ房ヨリナ

(六百)

(七百)

(八百)

(九百)

(十百)

(一十百)

(二十百)

ル之ヲ單胞ト云フ種子房ハ聚令セル雌雄ニマリ二個以上ノ胞ヨリナ

胚珠トハ如何

胚珠トハ子房内ニアル小球ニシテ花粉ヲ受ケテ後種子トナルモノナリ其位置ハ胞膜ノ一定ノ部ニ附着スルモノナリ

花托トハ如何

花托トハ花ノ諸部ノ生スル軸ニシテ其形通常短小ナルモ大ニシテ奇異ナルモノナリ

花盤トハ如何

花盤トハ花托ノ部分或ハ花托ヨリ生シタルモノニシテ萼ト雌雄トノ中間ニアリテ一個或ハ數個ノ体ヲナス

受精トハ如何

花粉ノ實質ヲ受ケテ胚珠ガ種子トナリ子房ガ果實トナル作用ヲ受精ト云フ

受精ノ方法ニ何種アルヤ

異花受精ト自花受精ノ二法アリ

異花受精トハ如何

異花受精トハ一花ヨリ其花粉ヲ風又ハ昆蟲ノ作用ニテ他花ニ送リテ他花ノ胚珠ヲ受精セシムルヲ云フ

自花受精トハ如何

自花受精トハ花粉ガ自花ノ胚珠ヲ受精セシムルヲ云フ

果實、單果、複果トハ如何

成熟セル子房ヲ果實ト云ヒ一花ヨリ生スル果實ヲ單果ト云ヒ數多ノ花ヨリ單一ノ果實ヲ作ルルハ複果ト云フ

果實ハ如何ナル部分ヨリナルカ

果實ハ果子及ヒ種子ヨリナル而シテ果子ハ外皮、中皮、内皮ノ三層ヨリナ

單果ノ種類ヲ記セ

單子房ヨリナルモノ、若干ノ分離子房ヨリナルモノ及ビ集合子房ヨリナルモノ之レナリ

單子房ヨリナルモノ、種類ヲ記セ

莢(豌豆)ノ如シ、節莢(ヌスビトハギ)ノ如シ、及ビ核果(梅)ノ如シナリ

若干ノ分離セル子房ヨリナルモノ、種類ヲ記セ

蓇葖(芍薬)ノ如シ、瘦果(薊)ノ如シ之レナリ

集合子房ヨリナルモノ、種類ヲ記セ

蒴石竹ノ如シ、長角芥ノ如シ、短角芥ノ如シ、穎果(燕麥)ノ如シ、翅果(楓

複果ノ種類ヲ記セ

ノ如シ、懸果(人参)ノ如シ、堅果(堅)ノ如シ、漿果(葡萄)ノ如シ、蓇果(南瓜)ノ如シ、梨果(梨)ノ如シ之レナリ

總果(杉)ノ如シ、桑果(桑)ノ如シ之レナリ

種子トハ如何

種子トハ生殖ヲ司ル器官ニシテ通常橢圓形ヲナスモ球狀、腎臟狀ヲナスモノアリ

種子ハ如何ナル部分ヨリナルカ

種子ハ種核及ビ種皮ヨリナル、種核ハ實體ニシテ胚及ビ胚乳ヲ有ス種皮ハ種子ノ皮膜ニシテ内外二枚ヨリナル

植物分類法トハ如何

植物ノ形狀構造ヲ観察セルヲ集メテ異ナルモノヲ區別シ植物界ヲ適宜

ニ區分スル植物分類法ト云フ

植物分類法ヲ別テ何種トスルヤ

天然人爲ノ二分法トス天然分類法トハ植物全体ノ諸機關ノ位置形狀
及ビ其構造ニヨリテ區別スルヲ云フ人爲分類法トハ雄雌兩蕊ノ數位
體ニ依テ植物ヲ類別シ之ヲ二十四綱ニ別テリ此法ハ瑞典ノリンネチツ
ス氏始メテ發明セリ

天然分類法ニ於テ通常用フル名稱ヲ順序ニ記載セヨ

部門亞門類區科屬等ナリ

毛茛科ノ特徴ヲ記セ

毛茛科ハ通常草本ニシテ木本ノモノアリ葉ハ互生シ稀ニハ對生ス花
ハ整形ナルアリ不整形ナルアリ萼ハ三乃至六個ナリ雄蕊ハ數多アリ
雌蕊ハ多數ナルアリ小數ナルアリテ皆分離セリ果實ハ瘦果或ハ蓇葖

ナリ

毛茛科ノ効用産地及ビ其種屬ヲ記セ

毛茛科ハ苦味ヲ有スル植物ナルヲ以テ健胃劑ニ使用ス暖帶寒帶ニ多
ク濕地ニ産ス此科ニ屬スルモノハ毛茛芍藥白頭翁黃連トリカブト
罌粟連ナリ

十字科ノ特徴ヲ記セ

十字科ハ草本ニシテ葉ハ互生シ花ハ總狀ヲナシ萼辨共ニ四片ヲ有シ
花冠ハ十字形ヲナシ雄蕊ハ六個果實ハ長角或ハ短角ヲナス

十字科ノ効用産地及ビ其種屬ヲ記セ

十字科ハ無毒ナル植物ナルヲ以テ日常食用ニ供ス中帶寒帶ニ産ス之
ノニ屬スルモノハ大根大青ナツナウサビナタチナリ

石竹科ノ特徴ヲ記セ

石竹科ハ草本ニシテ節部ニ膨起シ葉ハ對生シ四乃至五個ノ萼及ビ花冠ヲ有シ子房ハ單胞ヨリナリ特立中央胎盤ヲナス果實ハ蒴ナリ

石竹科ノ効用、産地、及ビ其種類ヲ記セ

石竹科ハ其花美麗ナルヲ以テ園庭ニ植フ暖帶寒帶ニ生ス石竹白玉草
ハハコハハ仙翁ミ、ナ草ナリ

荳科ノ特徴ヲ記セ

荳科ハ草本及ビ木本ニシテ葉ハ互生シ托葉ヲ有シ通常羽狀ヲナス萼ハ出裂シ花冠ハ不整形ナルモノ多ク稀レニハ整形ノモノアリ

荳科ノ効用、産地、及ビ其種類ヲ記セ

荳科ハ食用ニ供スルモノアリ藥用トナルモノアリ染料トナルモノアリ牧草トナルモノアリ又園庭ニ植ユルモノアリ此科ノ植物ハ地球上何レノ地ニモ生ス殊ニ暖帶ニ多シ蠶豆、豌豆、葛、藤、槐、ウマゴヤシ、ナスヒト

ハヤシヤククイハヤシヨマツナギサイカチエビス草チムノキチムリクサナリ

薔薇科ノ特徴ヲ記セ

薔薇科ハ灌木ニシテ葉ハ互生シ托葉ヲ有シ花ハ整形萼ハ五裂ニシテ花冠ハ五瓣ニシテ周位ニシテ整形ナリ雄蕊ハ多數雌蕊ハ一個若クハ數箇ナリ果實ハ核果梨果膏菜ナリ

薔薇科ノ効用、産地、及ビ其種類ヲ記セ

薔薇科ハ園庭ニ植ユルモノ多ク其核果ハ食用トシテ用ニ暖帶寒帶ニ生ス櫻桃、薔薇、山吹、梨、枇杷、キイチゴ、ハビイチゴ、サシザシ、之ニ属ス

繖形科ノ特徴ヲ記セ

繖形科ハ草本植物ニシテ葉ハ互生シ花ハ繖形ヲナシ萼、瓣花、雄蕊ハ各五個、雌蕊ハ二個果實ハ懸果ナリ

繖形科ノ効用、産地、及ビ其種屬ヲ記セ

繖形科ハ食用及ビ藥劑ニ使用ス。歐洲、亞細亞、北米ノ北部ニ多ク生ス。人參、毒芹、血止草、タウキ、ウイキヨウ、ミツハ、ヤブシラミ、之ニ屬ス。

菊科ノ特徴ヲ記セ

菊科ハ草本植物ニシテ葉ハ互生或ハ對生頭狀花ヲ着ケ總苞ニテ圍包セラル。花冠ハ正形五數雄蕊ハ五箇單雌蕊アリテ二柱頭ヲ有ス。子房ハ單胞ヨリナリ果實ハ瘦果ナリ。

菊科ノ効用、産地、及ビ其種屬ヲ記セ

菊科ハ美麗ナル花ヲ有セルヲ以テ園庭ニ植ユ。又藥劑食用ニ供スルコトアリ。地球上何レノ處ニモ産ス。菊、薊、ヨモギ、牛房、カンボク、チシヤ、ヨメナ、タハナキ、フキ、シメツク、之ニ屬ス。

玄參科ノ特徴ヲ記セ

玄參科ハ草本ニシテ葉ハ互生シ花冠ハ唇形ナシ五裂ス。雄蕊ハ二個或ハ四個ニシテ二長二短單雌蕊アリ子房ハ二胞ヨリナリ中軸胎盤ヲ有ス。果實ハ蒴トナル。

玄參科ノ効用、産地、及ビ其種屬ヲ記セ

玄參科ハ藥用ニ使用シ園庭ニ植ユ。地球上到ル處ニ産ス。桐、ウソラン、サキゴケ、ゴマノハグサ、マニコナ、イヌノフグリ、之ニ屬ス。

唇形科ノ特徴ヲ記セ

唇形科ハ草本ニシテ方莖ヲ有シ葉ハ對生十字形ナシ通常芳香ヲ帶ビ花冠ハ唇形ナシ雄蕊ハ四個若クハ二個ヲ有ス。子房ハ四裂シ果實ハ瘦果ナリ。

唇形科ノ効用、産地、及ビ其種屬ヲ記セ

唇形科ハ藥劑ニ使用シ暖帶ニ産ス。薄荷、百里香、紫蘇、イヌゴマ、オドリコ

草、タ、ハ、ナ、コ、ト、草之ニ屬ス

蓼科ノ特徴ヲ記セ

蓼科ハ草本植物ニシテ葉ハ互生ニシテ托葉ヲ有ス花ハ單皮ニシテ四
簡乃至九簡ノ雄蕊及ビ三簡ノ雌蕊ヲ有ス子房ハ單胞ヨリナリ果實ハ
三角形ノ瘦果ナリ

蓼科ノ効用、産地、及ビ其種屬ヲ記セ

蓼科ハ食用及ビ藥劑ニ使用シ多ク暖地ニ産ス、蓼、蕎麥、大黃、藍、スイハ之
ニ屬ス

殼斗科ノ特徴ヲ記セ

殼斗科ハ木本植物ニシテ葉ハ單形互生ナリ花ハ單性ニシテ雌雄同株
ナリ雄蕊ハ二個乃至二十雌蕊ハ一定セズ子房ハ二三ノ胞ヨリナル果
實ハ堅果ナリ

殼斗科ノ効用、産地、及ビ其種屬ヲ記セ

殼斗ハ藥用ニ使用ス果實ハ食スルコトヲ得暖帶、寒帶ニ産ス、樺、栗、樺木、
ナ、赤楊之ニ屬ス

蘭科ノ特徴ヲ記セ

蘭科ハ草本ニシテ葉ハ全縁花ハ不整形ニシテ花被ハ六片ナリ雄蕊雌
蕊ニ附着シ花粉ハ塊粒ヲナシ子房ハ單胞ヨリナル果實ハ蒴ナリ

蘭科ノ効用、産地、及ビ其種屬ヲ記セ

蘭科ハ藥用ニ供シ又鉢ニ培養セラル地球上に到ル處ニ産ス、春蘭、石斛、
根、驚草、熊谷草、ツチアゲヒ之ニ屬ス

百合科ノ特徴ヲ記セ

百合科ハ草本植物ニシテ根ハ葱狀球狀ヲナス花ハ整形ニシテ花蓋ハ
六裂或ハ八裂ス雌蕊ハ六簡乃至八簡單雌蕊アリ子房ハ三乃至四ノ胞

(六十五百)

(五十五百)

(四十五百)

(三十五百)

(二十五百)

(一十五百)

(十五百)

ヨリナル果實ハ蒴果ハ漿果ナリ

百合科ノ効用、産地、及ビ其種屬ヲ記セ

百合科ハ食用ニ供スルアリ園庭ニ培養スルモノアリ暖帯ニ産スルモノ多シ百合葱蒜蘆カダクリツクハ草クサスギカツラナルコニリ之ニ属ス

莎草科ノ特徴ヲ記セ

莎草ハ草本ニシテ莖ハ中實ナリ葉ハ三列シ花ハ穂状或ハ頭状ナシ花蓋ハ欠如シ或ハ其痕跡アリ雄蕊ハ二乃至三雌蕊ハ二乃至三子房ハ單胞ヨリナリ果實ハ瘦果ナリ

莎草科ノ産地及ビ其種屬ヲ記セ

莎草ハ重ニ沼澤ノ地ニ産ス之ニ属スルモノハ莎草蘆テシキ草ウキヤガテ之ニ属ス

禾本科ノ特徴ヲ記セ

禾本科ノ草本ニシテ葉ハ二列シ花ハ集合シテ穂状ナシ各花ニハ穀及ビ鱗皮アリ雄蕊ハ三箇ナリ子房ハ單胞ヨリナリ柱頭ハ二分シ羽毛状ヲナス果實ハ穎花ニシテ胚乳ヲ有ス

禾本科ノ効用、産地、及ビ其種屬ヲ記セ

禾本科ハ日常食用ニ供シ砂糖ヲ作り揮發油ヲ作ルニ用ニ暖帯寒帯ニ多ク産シ熱帯ニモ産ス稻小麥大麥烏麥甘蔗マダケ之ニ属ス

松柏科ノ特徴ヲ記セ

松柏科ハ喬木或ハ灌木ニシテ葉ハ針状ナシ花ハ單性ニシテ雌雄同株又ハ異株ナリ雄花ハ單雄蕊ヨリナリ雌花ハ球状ナシ各花ハ一箇乃至數箇ノ裸出セル胚珠ニテナル果實ハ球果或ハ核果ナリ

松柏科ノ効用、産地、及ビ其種屬ヲ記セ

松柏科ハ木材藥用其他ノ用ニ供セラル暖帶ニ産スルモノ多シ松、柏、杉、檜、銀杏、イチイ、フヤマツ、榧之ニ屬ス

隱花植物ノ徵候ヲ問フ

隱花植物ハ花ヲ有セズ芽胞ニ由テ繁殖スルモノナリ而シテ其芽胞ノ構造及ビ發育ハ顯花植物ノ種子ト性質ヲ異ニスルモノナリ

隱花植物發育機關ノ有様如何

隱花植物ノ高等ナルモノハ根莖葉ノ區別判然タルモノ下等ナルモノニ至テハ區別スル能ハズ

石松類ノ特徴ヲ記セ

石松類ハ芽胞ヨリ發生シ雌雄同株ヲナシ或ハ大小二種ノ芽胞ヨリ發生シ雌性ノモノハ胚胎時迄雄性ノ大芽胞内ニ潜在ス莖條長クシテ無根ノ細葉ヲ附着ス下面ヨリ細根ヲ出シ上面ヨリ鉾ノ如キ長條ヲ出ス

其先端ニ穗狀ノ体アリ

石松類ノ効用、産地及ビ其種屬ヲ記セ

石松類ハ藥劑ニ使用ス暖帶寒帶ニ生ス石松、卷柏之ニ屬ス

木賊類ノ特徴ヲ記セ

木賊類ハ草本ニシテ地上莖及ビ地中莖ヨリナリ地上莖ハ中空ニシテ處々ニ節アリテ枝條ヲ出ス葉ハ不完全ニシテ鞘狀ヲナシ節ニ着ス

木賊類ノ効用、産地及ビ其種屬ヲ記セ

木賊類ハ物ヲ磨クニ用ル又食用トナルモノアリ地球上到ル處ニ生シ荒野、湿地等ニ多ク産ス木賊、スギナ之ニ屬ス

蕨類ノ特徴ヲ記セ

蕨類ハ葉ヨリ長柄ヲ出シ莖ニ附着ス莖ヨリ根及ビ子囊ヲ出ス孢子ハ大小二種アリ

蕨類ノ產地及ビ其種屬ヲ記セ

蕨類ハ暖帶ニ多ク産ス蕨槐葉蕨之ニ屬ス

羊齒類ノ特徴ヲ記セ

羊齒類ハ草本ニシテ地中莖ヲ有ス葉ハ重羽狀ヲナシ實葉ト裸葉トアリテ實葉ノ裏面ニ子嚢アリ數多ノ根ヲ有ス維管束ハ中心ニ木質アリ柔軟ノ内皮ニテ之ヲ圍包ス

羊齒類ノ効用、產地、及ビ其種屬ヲ記セ

羊齒類ハ食用トナルモノアリ園庭ニ植ユルモノアリ熱帶地方ニ多ク寒帶地方ニ少クシ微裏白フサシダヘゴ之ニ屬ス

蘚類ノ特徴ヲ記セ

蘚類ハ細小ノ草本ニシテ微細ノ葉ヲ有シ中央ニ一ノ葉脈アリ莖ノ上部ヨリ柄ヲ出シ頂端ニ橢圓形ノ小体即チ子嚢ヲ有ス

蘚類ノ効用、產地、及ビ其種屬ヲ記セ

蘚類ハ生植物ノ根ヲ包ミ遠キ地方ニ輸送スルニ用ユ暖帶ニ多クシテ濕地ニ生ス具蘚土蘚ヨヒテ蘚水蘚之ニ屬ス

苔類ノ特徴ヲ記セ

苔類ハ全体扁平ニシテ莖葉ノ區別ナシ表面ハ暗綠色ニシテ數多ノ菱形ニ區分サレ其中央ニ氣孔アリ裏面ハ深綠色ニシテ無色ノ根毛ヲ出シ地ニ附着ス

苔類ノ產地及ビ其種屬ヲ記セ

苔類ハ陰濕ノ地ニ多ク産ス蘚苔浮苔地鏡苔角苔之ニ屬ス

菌類ノ特徴ヲ記セ

菌類ノ胞体ハ單一ナル細胞ヨリナリ而シテ細胞ハ葉緑ヲ欲ク故ニ活物ニ寄生シ死物ニ棲息ス

菌類ノ効用、産地、及ビ其種屬ヲ記セ

菌類ハ食用ニ供スルモノアルモ少ナクシテ有毒ノモノ多シ寒帯ノ外ハ地球上何レノ處ニモ産ス、松茸、香茸、木耳、麥角菌、ミヅコ、クロボ、ハシブ、カビ等之ニ屬ス

菌類ノ食用ト有毒トヲ區別スル法如何

乾燥セル陽地ニ生スルモノ、白色又ハ褐色ノモノ、緻密ニシテ脆キモノ、芳香アルモノ、苦、鹹、澁、辛ノ四味ナキモノハ食用ニ供スルヲ得陰濕ノ地ニ生スルモノ、美麗ノ色ヲ有セザルモノ、劇烈ノ臭氣アルモノ、苦、鹹、辛、澁ノ四味ヲ有スルモノハ有毒ナルモノナリ

地衣類ノ特徴ヲ記セ

地衣類ハ莖葉ノ區別ナク其形狀ハ種々アリテ木狀ナルアリ葉狀ナルアリ地ニ固着スルモノアリ

地衣類ノ効用、産地、及ビ其種屬ヲ記セ

地衣類ハ食用、藥劑、染料ニ供セラル、モノアリ、暖帯、寒帯ニ多ク産ス、
イラン、苔、ハナ、苔、石茸、瓦苔等之ニ屬ス

輪藻類ノ特徴ヲ記セ

輪藻類ハ沈在セル水生植物ニシテ泥中ニ根ヲ有シ外部ハ石灰層ヲ被ルモノアリ葉緑ヲ有ス莖ハ管狀ヲナシ細胞纖維ヨリナル而シテ其細胞纖維ハ分枝シテ長キ支節細胞ト短キ結節細胞ヲ有ス結節部ニ雄器、雌器ヲ有ス雄器ハ球狀ヲナシ雌器ハ卵圓形ヲナス

輪藻類ノ産地種類ヲ記セ

輪藻類ハ泉池ニ生ス、シヤヤクモ「スラスモ」之レナリ

藻類ノ特徴ヲ記セ

藻類ハ莖葉ノ區別ナク全体柔組織ヨリナリ帯ノ形ヲナス葉緑素性ノ

綠色ヲ呈シ或ハ褐色或ハ赤色ヲ呈ス

藻類ノ効用、產地、及ビ其種屬ヲ記セ

藻類ハ食料、肥料ニ供ス可ク糊ヲ作ルヲ得鹹水及ヒ淡水ニ生ス淺草

藻石、花菜、フノリ、昆布、ワカメ、海苔、水綿等之ニ屬ス

原微植物類ノ特徴ヲ記セ

原微植物ハ最下等ノ植物ニシテ單細胞ヨリナリ自体ノ分裂ニテ繁殖ス

原微植物類ノ種屬ヲ記セ

原子藻、硅藻及ヒバクテリア之レナリ

植物帶ヲ分テ何種トスルヤ

赤道帶(一名椰樹帶又ハ芭蕉帶)熱帶(一名無花果帶又ハ羊齒帶)亞熱帶(一名樟樹帶)溫帶(一名綠葉帶)冷帶(一名落葉樹帶)亞寒帶(一名松柏帶)寒帶(一

名アルペン、灌木帶(極帶)一名、高嶺草、本帶)ノ八帶トス

赤道帶トハ如何

赤道帶トハ赤道ノ兩側零度ヨリ十五緯度ノ間ヲ云ヒ此帶ニ生スル植物ハ高大ニシテ鬱々蒼々タリ椰、芭蕉ノ如キ之レナリ

熱帶トハ如何

熱帶トハ十五度ヨリ二十三度ノ間ノ南北緯度ヲ云ヒ廿六七度ノ平均溫度ヲ有ス此帶ニ生スルモノハ無花果、羊齒ノ如シ

亞熱帶トハ如何

亞熱帶トハ二十三度ヨリ三十四度ノ南北緯度ノ間ヲ云ヒ十四五度ノ平均溫度ヲ有ス此帶ニ生スル植物ハ石榴、樟、橙、橘ノ如シ

溫帶トハ如何

溫帶ハ三十四乃至四十五南北緯度ノ間ヲ云ヒ十二三度ノ平均溫度ヲ

冷帯トハ如何

有ス此帯ニ生スル植物ハ樺屬形科ノ植物ナリ
冷帯ハ南北緯度ノ四十乃至五十八度ノ間ヲ云ヒ十一二度ノ平均温度
ヲ有ス此帯ニ禾本科、菊科ノ植物生スルナリ

亞寒帯トハ如何

亞寒帯ハ南北緯度五十八度ヨリ六十六度ノ間ヲ云ヒ五六度ノ平均温
度ヲ有ス此帯ニハ松柏科、莎草科ノ植物繁殖ス

寒帯トハ如何

寒帯トハ南北緯度六十六度ヨリ七十二度ノ間ヲ云ヒ四五度ノ平均温
度ヲ有ス此帯ニハ樺木、矮縮ナル楊柳等ノ灌木繁茂ス

極帯トハ如何

極帯ハ南北緯度七十二度ヨリ極ニ至ル間ヲ云ヒ平均温度ハ氷点以下

ナリ此帯ニハ隱花植物生スルナリ

日本ニテハ植物帯ヲ何種ニ別ツヤ

榕樹帯、黒松帯、山毛櫸帯、白檜帯、偃松帯ノ五帯ニ別ツ

榕樹帯ニ属スル地方ヲ記セ

本帯ニ属スル處ハ日向、大隅、薩摩ノ南端及ヒ土佐ノ南部ナリ

黒松帯ニ属スル地方ヲ記セ

本帯ニ属スル處ハ九州ノ南端ヨリ東北ハ磐城能登ニ入り本州九州四
國ノ大半ヲ占ム

山毛櫸帯ニ属スル地方ヲ記セ

本帯ニ属スル地方ハ東山道及ヒ北陸道ノ東部及ヒ東海道ノ北部ナリ

白檜帯ニ属スル地方ヲ示セ

本帯ニ属スル地方ハ東海、東山、北陸ノ諸州ノ高山アル處ナリ

優松帯ニ屬スル地方ヲ示セ

本帯ハ寒威嚴冽ノ地ヲ占ム東海東山北陸ノ三道中最モ高キ山ノアル
地方ナリ

受檢植物學問答附錄

天然分類法表

第一部顯花植物

第一門被子

第一亞門雙子葉

第一類離瓣花

第一區托花

毛茛科十字科石竹科

第二區萼花

堇科薔薇科繖形科

第二類合瓣花

第一區瓣花

菊科 玄參科 唇形科

第三類 單被花

蓼科 殼斗科

第二亞門 單子葉

第一類 瓣花

蘭科 百合科

第二類 頰花

莎草科 禾本科

第二門 裸子

松柏科

第二部 隱花植物

第一門 羊齒

第一類 石松

第二類 木賊

第三類 蘋

第四類 羊齒

第二門 蕨苔

第一類 蕨

第二類 苔

第三門 菌藻

第一類 菌

第二類 輪藻

第三類 藻

第四類 原核植物



明治廿四年八月十日印刷

明治廿四年八月二十日出版

五

大阪市東區船越町一丁目八十四番屋敷



著者 中 司 正 朔

京都市上京區寺町通二條下ル妙滿寺前町十番戶

發行者 河 合 卯 之 助

大阪市西區鞆下通一丁目四十八番屋敷

印刷者 瀨 戸 清 次 郎

東京市日本橋區大傳馬町貳丁目

發賣者 松 榮 堂

各 國 賣 捌 所

- | | | |
|-------------|---|-------|
| 東京市日本橋區通一丁目 | 全 | 大倉 |
| 神田今小路 | 全 | 倉孫兵衛 |
| 大阪市備後町四丁目 | 全 | 梅原源次 |
| 安土町四丁目 | 全 | 吉岡平助 |
| 本町四丁目 | 全 | 積善館 |
| 南久寶寺町四丁目 | 全 | 岡島善具七 |
| 安堂寺町四丁目 | 全 | 前川善兵衛 |
| 北久太郎町四丁目 | 全 | 青木恒三郎 |
| 越中國富山西町 | 全 | 柳原喜兵衛 |
| 加賀國金澤 | 全 | 大橋甚吾 |
| 名古屋本町 | 全 | 雲崎根兵衛 |
| 肥後熊本新町 | 全 | 岡崎與兵衛 |
| 筑前博多中嶋町 | 全 | 片野東四郎 |
| 近江國大津 | 全 | 小澤吉兵衛 |
| 丹波國柏原 | 全 | 長崎吉次郎 |
| | | 積善館支店 |
| | | 古川伊助 |
| | | 中嶋林正吉 |

三宅茨山校閱 小林巖溪譯述
 訂正 ニシユナシ
 三版 ナシユナシ
第四讀本直譯講解 全二冊 正價金四拾錢 郵税金八錢

河田駕洋君譯述
 ニシユナシ
第五讀本直譯講義 全四冊 一冊定價金貳拾錢 郵税金貳錢

方今公私立學校教科書ノ一トノ世ニ流行セシニニシヨナル讀本中最モ既讀スヘキモノハ五卷ニシテ最モ難シトス
 ルモノモ亦五卷ナリ而シテ此等ヲ直譯セル或ハ意譯セル書ノ如キ既ニ二三ノ梓ニ上ルモノアリト雖モ或ハ簡ニ失シ或
 ハ發ニ過キ未ダ全ク學生諸君ナシテ充分ナル満足ヲ感セシムルモノアラズ弊館爰ニ感アリ這回學識ト經驗トニ富メル河
 田駕洋君ニ依頼シ完全無缺ナル直譯講義トシテ發揚スヘキモノハ譯語ノ妥當ナルト講解ノ可啻適切ナルト註釋ノ綿密周
 到ナルトニ在リ庶幾クハ是レ英學海ノ燈明臺ナラン乎實ニ學生諸君ノ良教師嗚呼爾ヤ有為ノ書ニ爰然光輝ヲ發チテ學海
 ノ航路ヲ照ラセ

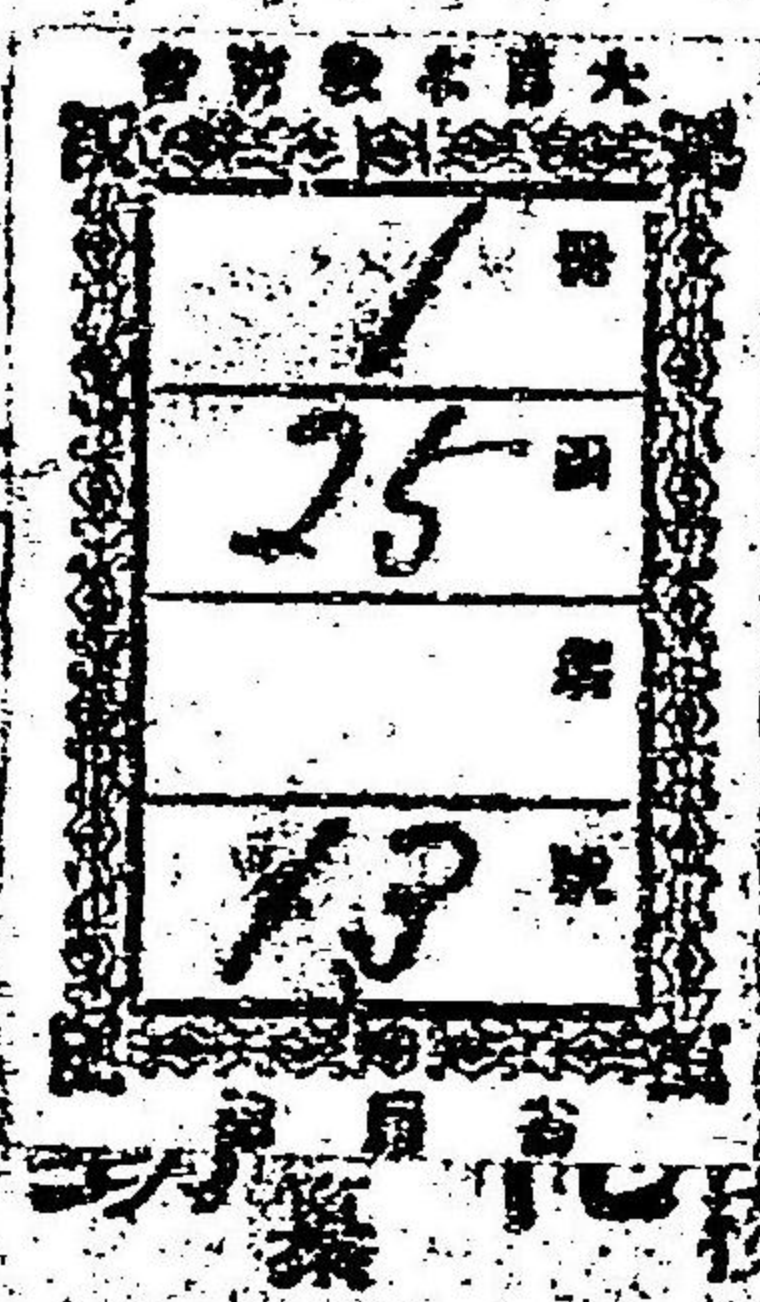
高等尋常中學校師範學校 受驗用
 特別認可學校其他諸學校 參考書
 中司正朔著

理 學 問 答 全一冊 正價金拾五錢 郵税金四錢

高等尋常中學校師範學校 受驗用
 其他諸學校 參考書
 中司正朔著

學 問 答 全一冊 正價金拾五錢 郵税金四錢

物 學 問 答 全一冊 正價金十五錢 郵税金四錢



各 國 賣 捌 所

東京市日本橋區通一丁目
全 神田今小路
大阪市備後町四丁目
全 安土町四丁目
全 本町四丁目
全 南久寶寺町四丁目
全 安堂寺町四丁目
全 北久太郎町四丁目
越中國富山西町
加賀國金澤
全 名古屋本町
全 肥後熊本新町
筑前博多中嶋町
近江國大津
全 丹波國柏原

大倉孫兵衛
金刺源次衛
梅原龜七助
吉岡平助
積島善具七
岡島善兵衛
前川善兵衛
青木恒三郎
柳原喜兵衛
大橋甚吾
雲根兵衛
岡崎與兵衛
片野東四郎
梶田勘助
小澤吉兵衛
長崎次郎
積善館支店
古川伊助
中嶋林正吉

三宅荻山校閱 小林巖溪譯述
訂正 ニ ヨ ヌ
三版 ナ シ ヨ ナ ル
第四讀本直譯講解 全二冊 正價金四拾錢 郵税金八錢

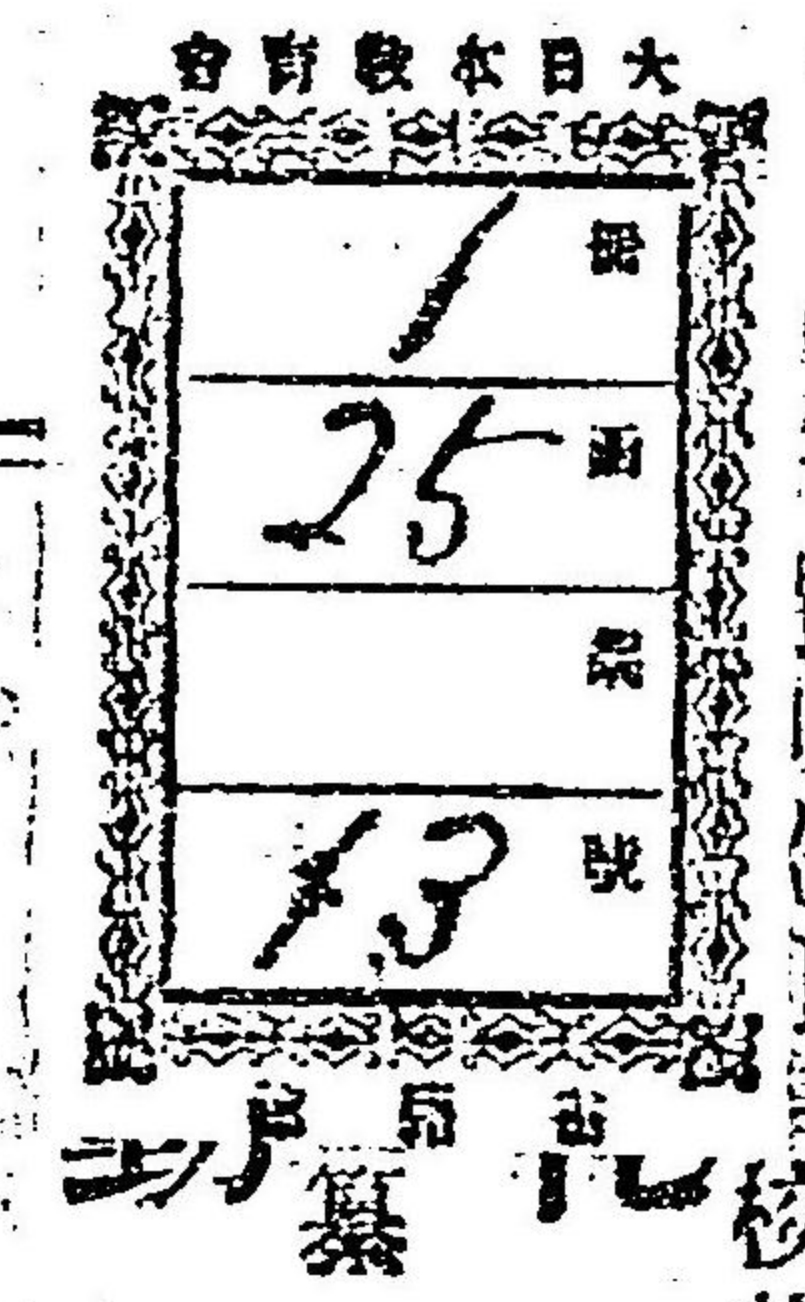
河田駕洋君譯述
ニ ヨ ヌ
ナ シ ヨ ナ ル
第五讀本直譯講義 全四冊 一冊定價金貳拾錢 郵税金貳錢

方今公私立學校教科書ノ一トノ世ニ流行セル「ニユーナシヨナル」讀本中最モ觀讀スヘキモノハ五卷ニシテ最モ難シトス
ルモノモ亦第五卷ナリ而シテ此書ヲ直譯セル或ハ意譯セル其ノ如キ既ニ二三ノ梓ニ上ルモノアリト雖モ或ハ簡ニ失シ或
ハ發ニ過キ未ダ全ク學生諸君ヲシテ充分ナル満足ヲ感セシムルモノアラズ弊舖爰ニ感アリ當回學識ト經驗トニ富メル河
田駕洋君ニ依頼シ完全無缺ナル直譯講義トシテ勝揚スヘキモノハ譯語ノ妥當ナルト講解ノ明瞭切ナルト註釋ノ綿密周
到ナルトニ在リ庶幾クハ是レ英學海ノ燈明燈ナラシ乎實ニ學生諸君ノ良教師嗚呼爾等ヲ有為ノ書ニ爰然光輝ヲ發チテ學海
ノ航路ヲ照ラセ

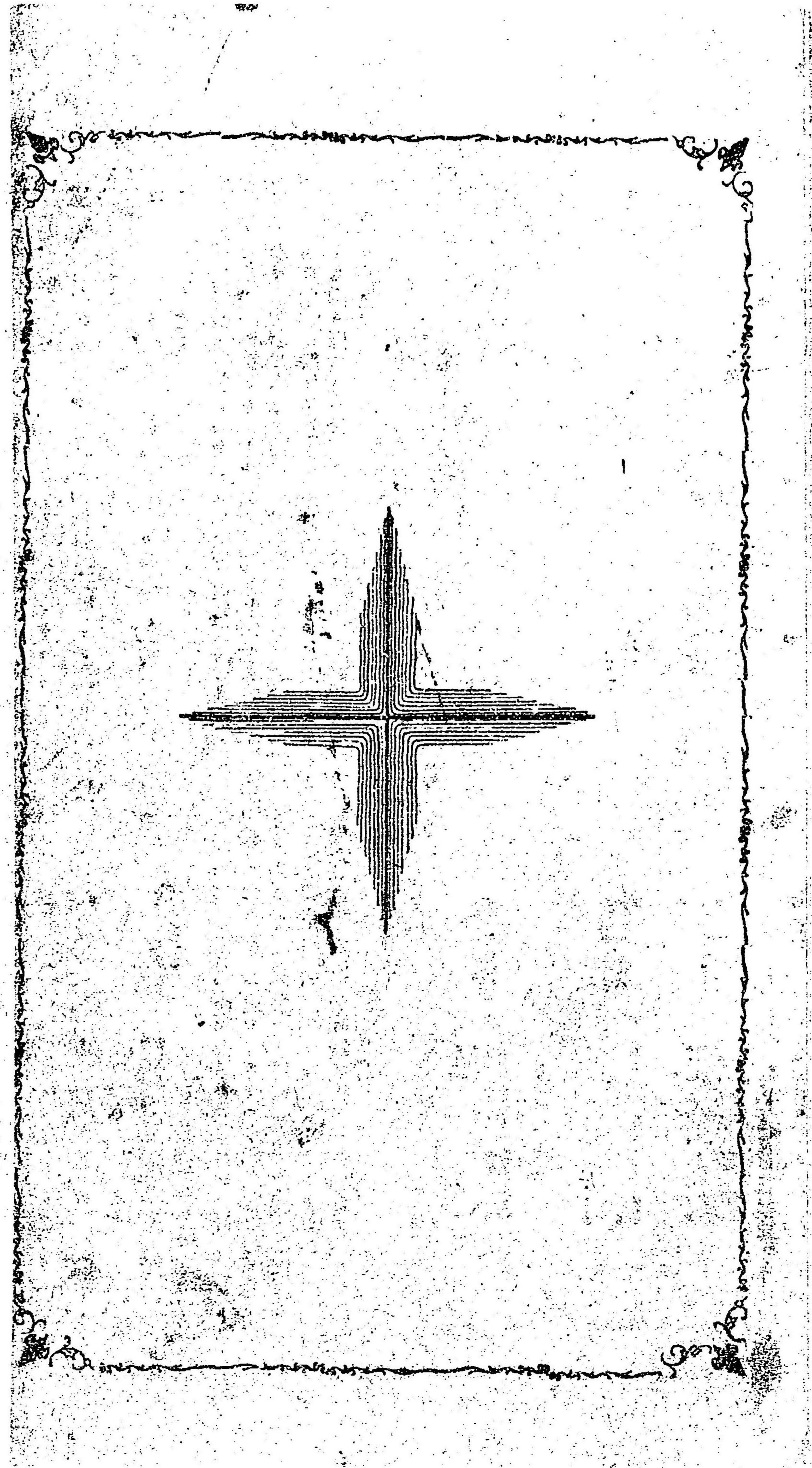
高等尋常中學校師範學校 受驗用 中司正朔著 全一冊 正價金拾五錢 郵税金四錢
特別認可學校其他諸學校 參考書
受驗 必携 理學問答

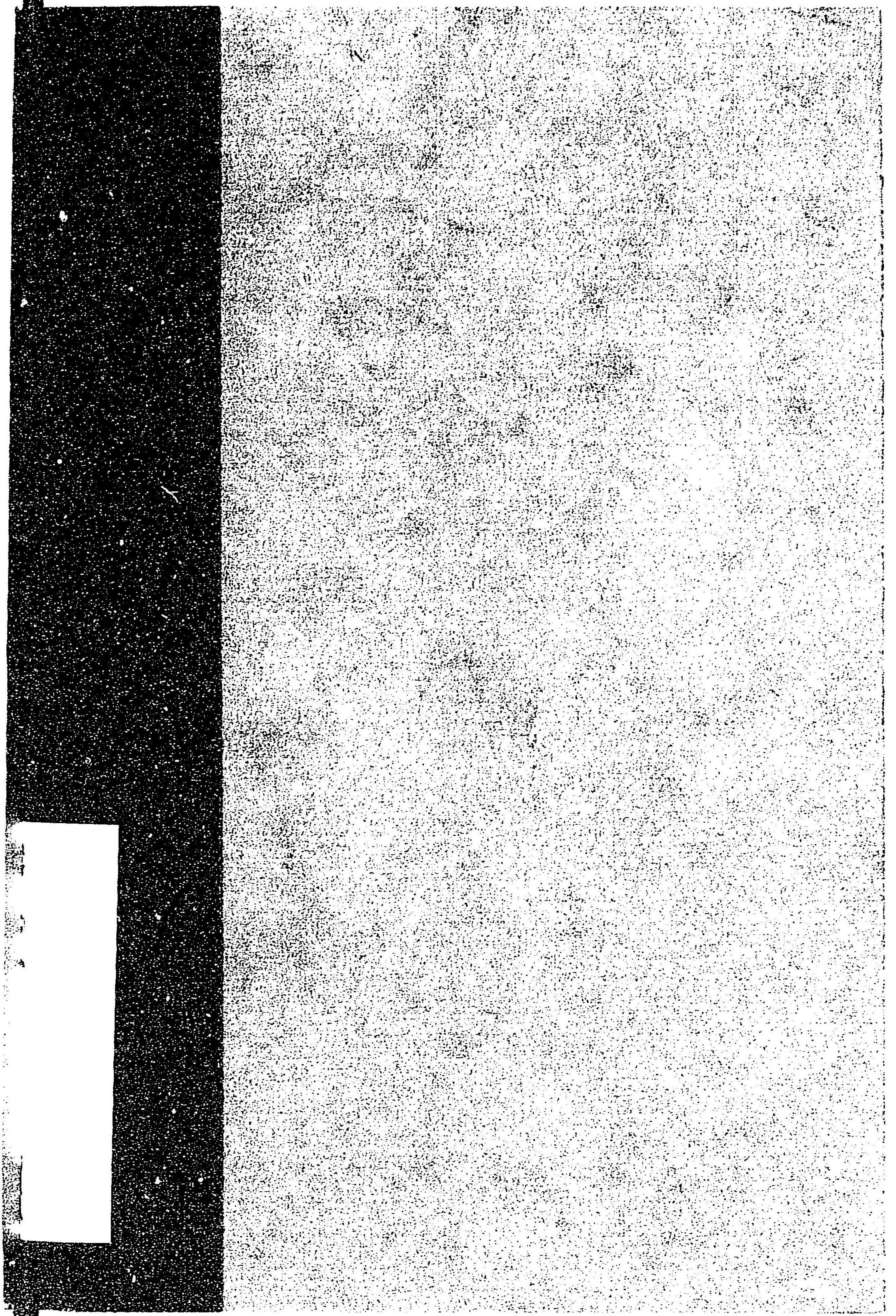
高等尋常中學校師範學校 受驗用 中司正朔著 全一冊 正價金拾五錢 郵税金四錢
特別認可學校其他諸學校 參考書
受驗 必携 理學問答

高等尋常中學校師範學校 受驗用 中司正朔著 全一冊 正價金十五錢 郵税金四錢
特別認可學校其他諸學校 參考書
受驗 必携 理學問答



物 學





1
2
3
4

特51

344

植物学問答

国立国会図書館

049751-000-8

特51-344

植物学問答(受験必携)

中司 正朔/編

M24

BEM-0476

